

花火 正しく使いましょう!



花火に書いてある遊び方、注意書きをよく読んで必ず守りましょう。

日本の夏の風物詩、花火。そのルーツは古く、紀元前3世紀の古代中国、火薬の基本となる硝石が発見されてからとされています。日本での歴史上の記録に残る花火の第1号は、それから約2千年後の天正17年(1589年)7月、伊達政宗が観賞したのが最初であるとも言われ、それに慶長18年(1613年)8月、駿府で徳川家康に、英国人ジョン・セーリスが同行の中国人の手で花火を見せたという記録もあります。

現在のような色鮮やかな花火になったのは、明治のはじめごろで、西洋からの輸入により塩素酸カリウムやストロ

ンチウム、バリウムなどの彩色光剤を得て、日本花火の歴史上最大の躍進の時期を迎え、今日の世界一と言われる日本花火の基礎が作られました。

このように、おもちゃ花火とは言葉、原料は火薬。間違った楽しみ方は大げがのもとです。使用法、警告、注意を守って「楽しい花火」にしましょう。

注意事項

- 花火をするときは、必ず水を用意して、火を相手に向けないようにしましょう。また、火はローソクでつけましょう。
- 打ち上げ花火は、導火線の先端に線香で火をつけましょう。また、火が消えても筒をのぞいてはいけません。
- 手持筒ものは、端を持たないようにしましょう。もし、下から火が出た場合危険です。
- 花火が終わったら、ごみは必ず持ち帰りましょう。
- 花火大会の不発玉を見つけたら、必ず消防署又は警察署に連絡しましょう。いたずらはしないこと!
- 花火を陳列している店頭での火気の使用は禁止です。

甲種防火管理者資格取得講習会実施予定

伊予消防等事務組合では、甲種防火管理者資格取得講習会を開催します。防火対象物で防火管理者未選任の場合、この機会にぜひ取得してください。

日時
9月20日(木) 10時~17時
9月21日(金) 9時~16時
2日間

場所
伊予市下吾川950-3

お問合せ先
松前消防署
☎984-3404

伊予消防等事務組合では、伊予消防署3階大会議室で実施します。

受付期間
8月31日(金)まで

定員
100名
(定員になり次第締切)

申込書、ご不明な点についてはお問合せください。

平成13年上半期 救急・火災報告

救急出場件数 489件
火災発生件数 7件

救急出場件数は489件で前年に比べ53件、また、搬送人員は473人で同じく36人の増加となっています。事故種別救急出場件数を見

てみると、急病265件(54.2%)、交通事故95件(19.4%)、一般負傷53件(10.8%)、その他76件(15.6%)となっており、急病が昨年より29件増となっています。各比率については、特に変化はありません。

次に火災発生件数は7件で、昨年より4件増加しました。原因別で見ると、こんろ、かまど、電気の配線、溶接機・溶断機、灯火、放火の疑い、不明が各1件ずつで、計7件となっています。